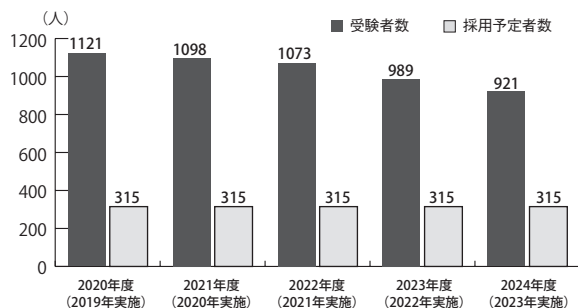


石川県

面積	4,186 km ²
人口	1,098,531 人
県の花	クロユリ
県の木	あて
県の鳥	イヌワシ

求める教員像	1 児童生徒に対する教育的愛情を有する人 2 責任感と使命感を有する人 3 豊かな教養と専門的知識を有する人 4 広く豊かな体験を持ち、指導力・実践力を有する人 5 向上心を持ち、明るさ、積極性に富む人
出願期間	公開日 4月25日(木) 電子申請 4月30日(火) 10:00~5月31日(金) 17:00
試験日程	筆記試験 試験日 7月20日(土) 実技試験 試験日 7月20日(土)・21日(日) (保健体育志願者のみ両日、他は21日のみ) 面接試験 試験日 8月3日(土)・4日(日)の指定した1日 合格発表日 9月27日(金)
年齢制限	昭和40年4月2日以降に生まれた者
募集教科	[小] [中高] 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語, 農業, 工業, 商業, 看護, 福祉, 情報 [特] (小) (中高) 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語, 農業, 工業, 商業, 福祉 [養] [栄]
特記事項	■特別選考 ●区分A：本県講師等として勤務する受験者を対象とした選考 前年度試験の教職・一般の成績が基準点に達した者で、本県国公立の講師等として令和6年4月1日~令和7年3月31日に11か月以上の勤務を見込む者は、筆記の教職・一般を免除。●区分B：正規教員としての勤務経験を有する受験者を対象とした選考 規定の要件を満たす者は、[小・特(小・中高)]志願者は筆記と実技を免除、[中高・養・栄]志願者は筆記の教職・一般を免除。●区分C：大学3年生を対象とした選考(令和8年度採用) [小・特(小)]志願者対象。筆記、実技、適性検査を受験可能。●区分D：前年度の大学3年生を対象とした選考において基準に到達した者を対象とした選考 [小・特(小)]志願者対象。面接を実施。●区分E：大学からの推薦を受けた受験者を対象とした選考 [小]志願者又は[中高]工業志願者で規定の要件を満たす者は、筆記と実技を免除。●区分F：障害のある受験者を対象とした選考 必要に応じて実技試験等の一部又は全部を免除。●区分G：英語に係る資格を有する英語受験者を対象とした選考 [中高・特(中高)]英語志願者で、令和4年4月1日以降に規定の資格を取得した者は、筆記の専門を免除。●区分H：民間企業等勤務経験を有する工業受験者を対象とした選考 [中高・特(中高)]工業志願者で、同一の民間企業等で正規職員として、令和6年3月31日現在、3年以上の勤務経験者は、筆記の教職・一般を免除。●区分I：教育職員普通免許状(看護)を有しない看護受験者を対象とした選考 看護師免許証を有し、看護師等として令和6年3月31日現在、3年以上の勤務経験者は、筆記の教職・一般を免除。

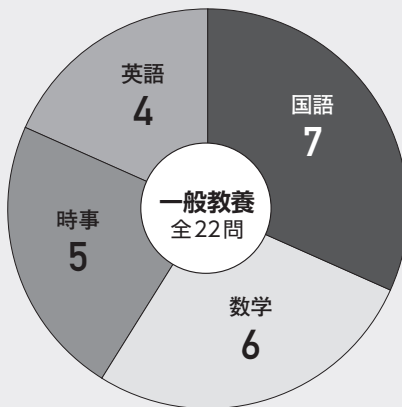
▼受験者数等推移



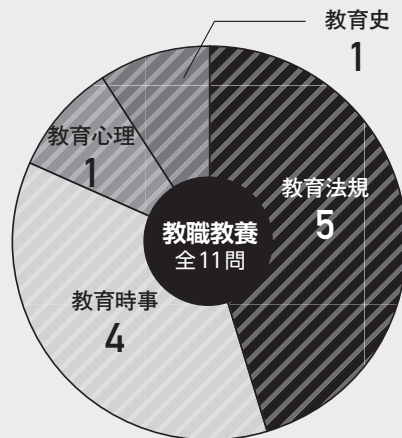
▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	2,204	716	134
不登校(人)	1,024	1,918	817

2025年度(2024年実施)筆記試験DATA



- ▶ 教育法規は教育基本法
- ▶ 幅広い領域から出題される教育心理
- ▶ 社会科学で必出の時事



〈教職教養〉のうち、**教育時事**では、第4期の「教育振興基本計画（閣議決定）」（2023年）から教育振興基本計画の基本的特質を問う問題が出題された。また、OECD生徒の学習到達度調査（PISA2022）から順位が前回の15位から3位に上昇した資質・能力を問う問題が出題された。このほか、『「不登校特例校」の新たな名称について（通知）」（2023年）に関する問題等もみられた。

教育法規では教育基本法が必出である。今年度は第10条（家庭教育）が出題された。また、教育公務員特例法と学校保健安全法、いじめ防止対策推進法は出題されやすく、今年度、教育公務員特例法では第22条の6（資質の向上に関する指導助言等）が、学校保健安全法では第20条（臨時休業）が、いじめ防止対策推進法では第2条（定義）が、それぞれ出題された。このほか、教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律第10条（教育職員等の責務）も出題されている。過去問を参照しながら条文のキーワードを整理したい。

教育心理は幅広い領域から出題されており、今年度はピグマリオン効果の理解を問う問題が出題された。

教育史では、著書「教育学講義」の中で、「人間は教育によってはじめて人間になることができる」と述べたカントに関する問題が出題された。人物名、思想上の特色、著書、名言といった項目から構成される一覧表を作成しておこう。

〈一般教養〉のうち、**人文科学**では例年、国語（同音異義語、格言・ことわざ、現代文読解等）と英語（単語、会話文等）を中心とした出題となっており、今年度も同じような傾向であった。**社会科学**では例年、時事が出題のメインとなっている。今年度、時事からは国連気候変動枠組み条約第28回締約国会議の開催場所、月面着陸に成功した日本の小型月着陸実証機の名称、ロサンゼルス市が制定した「大谷翔平の日」の月日等に関する問題等がみられた。**自然科学**では、数学の計算や図形以外の領域から幅広く出題される傾向となっており、今年度も同様であった。